

# JMU「商船建造撤退」

## — 継続して対応に全力 —

JMU舞鶴事業所「商船建造撤退」については、新型コロナウイルス感染症対策が、国内にとどまらず世界レベルの緊急課題となっていることから、大変“見えにくい状況”になっています。しかし、JMU関連の諸問題は、将来のまちづくりや地域の社会経済など未来の舞鶴市にとって、“禍根”となり得る極めて大きな問題です。舞鶴商工会議所では、「今この時—を全力で挑む」ことが、最重要と捉え懸命に取り組んでいます。会員企業の皆様の、引き続きのご理解とご協力をお願いします。

### 5月20日ハローワーク・府・市等と調整

5月20日、「JMU舞鶴事業所対策連絡会議・雇用支援部会打合せ会議」を舞鶴商工会議所で開催しました。会議には、ハローワーク舞鶴をはじめ、京都府中丹広域振興局、舞鶴市、舞鶴商工会議所、それにJMU舞鶴事業所から関係者11人が参加。去る4月25日と26日に開催した「第1回JMU従業員と舞鶴商工会議所会員事業所との面談会」の結果や、JMU関係従業員の今後の予定等をふまえて、当面の対応策について協議・検討を行いました。

JMUからの報告で、第1回面談会に参加した設計部門の従業員の状況、また商船建造を終了する来年6月末ごろに向けた、製造部門（船体建造・塗装・<sup>ぎそく</sup>織装）の従業員と関連会社の現状と配置転換等の予定などについて説明があり、その中で次回の面談会参加対象者が350人以上になり、JMU社員では6～7割は舞鶴市に残ることを希望されていることがわかりました。また、商工会議所からは、より実効性の高い面談会とするため、「双方から質疑を可能に」、「従業員の方々の職種・取得資格等の情報提供」を提案。

調整協議の結果、第2回面談会を7月11日（土）、12日（日）に開催することを決めるとともに、JMU側の参加者が多数になることが想定されることから、

会場を複数個所確保すること—。また、求人票を事前にハローワーク舞鶴に提出することを前提に、「双方から質疑」が可能となるなど、雇用の確保対策として実効性の高い“説明会”にすることが決まりました。

### 7月11、12日 第2回面談会開催

第2回の「JMU側従業員と舞鶴商工会議所会員事業所との面談会」は次のとおり開催する予定です。

- 期日 7月11日（土）、12日（日）午前10時～午後5時
- 会場 舞鶴市商工観光センター（浜）、JMU舞鶴事業所（余部下）、中総合会館（余部下）
- 内容 JMU側従業員と「雇用支援」を表明していただいた会員事業所との就職面談会です。
- 手順

- ① JMU側に提示している「雇用支援」会員事業所リストから、関係従業員が面談を希望する会員事業所についてJMUが集約。
- ② JMUから集約したリストについて商工会議所へ提供があり、関係者で日程と会場を調整します。
- ③ その結果を会員事業所に対し個々にお知らせし確認を取らせていただきます。（※ハローワークに“求人票”の提出が必須となります）
- ④ 期日と場所が確定します。

## JMUへの支援可能会員を募集します

～「雇用」「業務提携」「資金協力」等～

JMU商船建造撤退に関連し、去る3月～4月に会員事業所の皆様のご協力を得て「従業員の雇用、業務提携、資金協力、その他」の支援について、照会

をさせていただきました。その結果、現在で92会員事業所に支援表明をしていただいているところです。

7月11、12日に実施予定の「第2回面談会」等を控え、追加の支援会員様を募集しています。6月17日（水）までに舞鶴商工会議所へ電話でお知らせください。

○連絡・問い合わせ 舞鶴商工会議所(Tel62-4600)